

■不要パソコンの処理方法、扱いに関して

2014年4月9日をもってサポートが完全終了した Windows XP。機能的な問題はもちろん、セキュリティの点からも「Windows XP 搭載 PC は処分する」というのが正しい対応となるでしょう。ただし2003年に適用された「PC リサイクル法」によって、PC はどの自治体でも通常のゴミ回収ルートで処分が出来なくなっています。以下を参考に、自分の PC が該当する方法で正しく PC を処分して下さい。

● 「PC リサイクルマーク」の貼られている PC



ここ約 10 年（2003 年 10 月以降）で販売された完成品 PC には原則として「PC リサイクルマーク」というシールが貼られています。該当する PC は製造メーカーが責任をもって廃棄 PC を回収、処分することになっています。このシールが貼られている場合、PC メーカーに連絡をするだけで（最新の連絡先は各社 Web サイトなどを参照）無償で回収してもらえます。若しくは購入した店まで持参しましょう。

● 「PC リサイクルマーク」の貼られていない PC

2003 年 10 月以前に発売された、「PC リサイクルマーク」の貼られていない古い PC の場合、ユーザーが有償で PC を処分する必要があります。この場合まずは購入した PC のメーカーに連絡をするというのが基本。概ね 3000 円前後で回収、処分してくれるようです。

● すでに製造メーカーが存在しない PC

購入した PC の製造メーカーが倒産あるいは撤退している場合は、業界団体である一般社団法人「パソコン 3 R 推進協会」(<http://www.pc3r.jp/>) に問い合わせ、有償での回収、処分を依頼することができます。ただし費用はやや割高で 4000 ～ 6000 円。なお、買収によって消滅したメーカーの場合（コンパックなど）、買収元のメーカー（コンパックの場合は日本 HP）がこれを代行するというケースもあります。

● 自作 PC

自作 PC には原則として「PC リサイクルマーク」は貼られていません。これらを処分する場合は年式を問わず上記「パソコン 3 R 推進協会」などへの処分依頼が必要です（有償）。